

宮ノ陣ビオトープ新聞

第 8 号

(2021年 3月)

宮ノ陣学びのビオトープ

2016年 9月創刊 季刊

発行

くるめハイラスト株式会社

久留米市宮ノ陣町八丁島 2225 番地

〒839-0805 TEL0942-27-7515

協力 株式会社エコプラン研究所

宮ノ陣学びのビオトープから生き物や季節の情報をお伝えし、豊かな久留米市の将来へのライフスタイルを提案する新聞。

これまで計二回行った池干しにおいては、絶滅危惧種に分類される水生昆虫の「コガタノゲンゴロウ」、「魚類「ツチフキ」、「ミナミメダカ」が確認されてきました。今回の池干しにおいては、そのような貴重な生き物が引き続き生存しているか？新たに種類が増えていないか？絶滅危惧種に分類されなくても生息している魚類や水生生物も生存しているか？ということに注目しました。

結果は、下表のように、新しい仲間が二種増えて、過去に確認していた種は個体数が増加して元気に暮らしており、ホツとしました。特にコガタノゲンゴロウは、本ビオトープほどの池の面積でこれほど多くの数が生息していることは驚きでした。ミナミメダカやヤゴは、魚類の救出を優先的に行ったり、作業時間の関係で、救出しきれませんでした。大きな心配ではないと考えます。しかし、嬉しくないこともありました。詳しくはこの後の記事を読んでください。

表 池干しで確認した主な生物

分類	種名	数量			備考
		第三回 (2021.1)	第二回 (2019.12)	第一回 (2018.12)	
魚	ツチフキ	94	約 30	約 40	2016年10月放流種、準絶滅危惧(福岡県)、絶滅危惧IB類(環境省)
	モツゴ	183	約 100	約 60	2016年10月放流種
	ミナミメダカ	210	500以上	500以上	2016年10月放流種、準絶滅危惧(福岡県)、絶滅危惧II類(環境省)
	ヒメダカ	2	-	-	品種改良による観賞魚
底生動物	ミナミヌマエビ	数えきれないくらい多数	数えきれないくらい多数	1,000以上	
	ヤゴ(クロスジギンヤンマ)	-	約 10	-	
	ヤゴ(ギンヤンマ)	7	-	約 10	
	ヤゴ(オオヤマトンボ)	-	-	2	
	ヤゴ(シオカラトンボ)	10	-	約 20	
	コガタノゲンゴロウ	110	約 50	約 50	絶滅危惧II類(福岡県)、絶滅危惧II類(環境省)
	ウスイロシマゲンゴロウ	10	5	5	準絶滅危惧(福岡県)
	ヒメミズカマキリ	-	2	約 10	
	ミズカマキリ <small>[New]</small>	1	-	-	準絶滅危惧(福岡県)
	ヒメガムシ	10	約 10	約 20	
	カワニナ	107	約 30	-	2017年8月と2018年8月の講座で放流(宮ノ陣の水路で捕獲)
カエル	ヌマガエル <small>[New]</small>	1	-	-	カエルは初確認
備考	その他の外来生物は オオカナダモ(水草)、ハブタエモノアラガイ(貝)				



池の水を抜いて生物を救出する様子

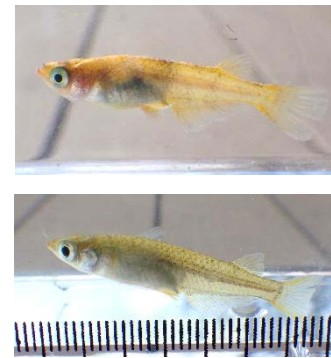
ウイズコロナの池干し大作戦！
生き物はそれでも生きていた！

宮ノ陣学びのビオトープでは、池内に生息できる生き物がくらす環境を整えるために、様々なテーマで学習や実践活動を行っています。ビオトープの中央にある池の水を抜いて、生態系の保全や水質を改善するための「池干し」は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、非公開で実施しました。

新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の影響により私たちの行動に様々な制限が出ています。しかし、野生生物はコロナとは関係なく暮らしています。ビオトープのように人工的に設けた自然環境は人が手を入れ続けることが望まれ、放置し続けると、池底に落ち葉やヘドロが溜まって環境状態が悪化した、強い生き物が多くなるなど特定の生き物が優占的になったりして、生物多様性が失われてしまいます。毎年、水辺の生き物が繁殖しない時期(主に冬季)に行う池干しもコロナ禍においても実施する意味は大きいと考え、公募は断念し、関係者のみで行いました。

令和三年一月二十七日、池の魚類、昆虫類がさらに快適に暮らせるようにするため、池の水質改善、繁茂する水草や藻類の除去、外来生物の駆除などによる通算三回目となる池干しを行いました。

今回の池干しでは、生き物の新しい仲間として「ミズカマキリ」(福岡県準絶滅危惧種)とカエルの仲間「ヌマガエル」が加わりました。ミズカマキリは名前に「カマキリ」と付いていますが、水生のカメムシの仲間で、水田や池などでオタマジャクシや小魚、他の昆虫などを食べて暮らしています。ヌマガエルは、水田や池付近に生息し、肉食性で昆虫やクモ、ミミズ等の小動物を好んで食べます。腹面が白いのが特徴です。近くの水田から移動してきたのではないかと考えられます。多くの生命が他のたくさんの生物と直接的・間接的につながっていること(生物多様性)が大切であることから、仲間が増えたことは嬉しいニュースといえます。



上/ ヒメダカ(外来生物)
下/ ミナミメダカ

新しい仲間が増えた！ 外来生物や観賞魚もいた！

カ「ヒメダカ」が確認されました。野生のミナミメダカと比べると体にオレンジ色が入っています。突然変異により体の色が変化する確率はゼロではないと思われますが、複数のヒメダカが見つかったことから、観賞用のヒメダカが放流されたことが予想されます。ヒメダカに限らず、ペットとして飼育されていた外来生物が捨てられたり、逃げたりして野生化し、元々いた生物が暮らさなくなったり、農作物・水産物に対して被害を及ぼしたりする事例が増加しています。ペットは最後まで責任を持って大切に飼育するようにしましょう。



池の水抜き後の様子(池のお掃除完了)

池の水抜き前の様子(水草や藻類が繁茂)

池の水抜き後、約一ヶ月間、池底を乾燥させたり、日光を当てたりした後、水と生き物を戻します。次回の池干しは多くの方に見ていただきたいと願っています。



宮ノ陣学びのビオトープの生き物たち ～池干しで見つかった宝物～

「宮ノ陣ビオトープ」に生育する木や草花、生息する魚、昆虫、鳥や季節の情報をお伝えします。
今回は、第三回池干しで見つかった主な生き物を紹介します。



ヒメガムシ



【New】ミズカマキリ



ウスイロシマゲンゴロウ



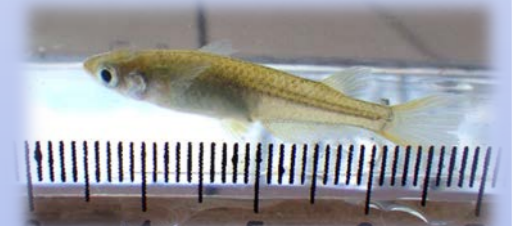
コガタノゲンゴロウ



【New】ヌマガエル



カワナ



ミナミメダカ



ミナミヌマエビ



モズゴ



ツチフキ

◆ 宮ノ陣学びのビオトープ ご利用案内 ◆

住所/ 〒839-0805
久留米市宮ノ陣町八丁島 2225 番
開園時間/ 9:00～17:00
休園日/ 毎週水曜日(休日の場合は翌日)、
12月29日～1月3日
アクセス/ 車: 国道322号沿い、駐車場有り
電車: 西鉄古賀茶屋駅から徒歩約15分
問合せ/ くるめハイトラスト株式会社
TEL/0942-27-7515
FAX/0942-27-7491

